

「感染震源地」の面的・網羅的検査で感染防げ 新型コロナ感染予防を河村市長に緊急申し入れ

新型コロナウイルスの感染者数が名古屋市内で急拡大するなか、日本共産党愛知県委員会（岩中正巳委員長）と党名古屋市議団は4日、河村たかし市長に対し、感染予防の見地にとって大規模なPCR検査等を実施するよう緊急に申し入れました。

市議団は「急速な感染拡大を止めるには、無症状の人も含めた感染力のある人を見つけ出して隔離・保護する以外にない」と指摘。中区錦三丁目など感染者が集中して発生している『感染震源地』で、面的・網羅的に検査するよう要請しました。

河村市長は「なるべく広く（検査を）やれというのは、そのつもりでやっている」と回答。

市議団は「症状のない”元気な”感染者を見つけ出すことが非常に重要。そのためには、感染震源地の住民、在勤者、連絡がつく常連の顧客などをローラー的に検査する必要がある」と求めました。



河村市長（中央）に申し入れ書を手渡す、日本共産党の岩中党県委員長（左から2人目）と党市議団=4日、市役所

これに対し河村市長は「そりゃそうだ」と応じました。

市議団はさらに、東邦高校で実施している数百人規模のPCR検査に触れ、「迅速・安全に大量の検体採取が可能な『唾液検査キット』を活用するなど、感染者を見つけ出す決意を市長は示してほしい」と迫りました。

河村市長は「そういうつもりでやります」と答えました。

危機的な感染拡大を抑止するため大規模なPCR等検査などを求める緊急申し入れ

名古屋市の新型コロナウイルスの感染拡大が過去最多を更新し続けており、きわめて憂慮する事態となっています。

東京都医師会の尾崎会長は、感染抑止のためには全国の感染震源地（エピセンター）化した地域を特定し、その地域で大規模なPCR等検査を行なう必要があると強調しています。現在の感染の急速な拡大を抑止するためには、PCR等検査を大規模に実施し、無症状の人も含めた「感染力」のある人を見つけ出して隔離・保護する以外にありません。

一刻の猶予もありません。7月28日の申し入れの具体化として、下記の対策の緊急実施を要請します。

記

1. 感染震源地において、無症状者も含めて感染力のある陽性者が特定されず感染拡大の原因になっていることから、錦三丁目など繁華街の住民、事業所の在勤者の全体、連絡可能な顧客に対して、防疫を目的にPCR等検査を実施すること
2. 医療、介護、福祉施設、保育園、幼稚園、学校等、集団感染によるリスクの高い施設に勤務する職員、出入り業者への定期的なPCR等検査を実施すること。必要に応じて施設利用者全体を対象にPCR等検査を実施すること
3. より迅速で安全に大量の検体採取が可能な「唾液検査キット」を積極的に採用すること。また、大量のPCR等検査を可能にするため、公的機関や大学等研究機関、民間検査機関などあらゆる機関に協力を求めること
4. 自宅待機にならざるを得ない陽性者に対し、隔離・保護を徹底するため、当面の食料や生活衛生用品などを詰めた「自宅療養パック」を配布すること
5. 名古屋市に感染者が集中していることから、情報を愛知県と共有し、市と県が一体となって、人的・財政的確保に全力を尽くすこと

以上